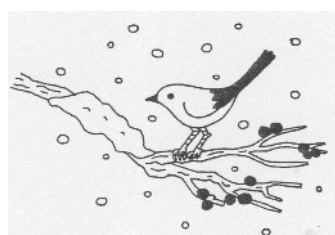


ひまわり



令和2年2月14日(金)

言葉は言霊（ことだま）



日本では、古来より「言葉」には「魂」が宿ると信じられてきました。これを言霊（言魂）信仰と言います。言葉を発すると、その言葉の内容が現実世界に何らかの影響を与えるというのです。良い言葉を発すると良いことが起こり、悪い言葉を発すると悪いことが起きるというのです。ですから、神主さんは祝詞（のりと）を読み上げる時、間違いがないように細心の注意を払います。また、結婚式などの慶事（けいじ）では、使ってはならない「忌み言葉」（いみことば）が存在します。例えば結婚式の披露宴では、「終わり」という言葉は使わず、披露宴の終了を「お開き」と表現します。

先日、自動車販売店のスタッフから、その会社の社員教育について話を聞く機会がありました。営業・技術・窓口担当のいずれのスタッフにも、徹底した接客教育がされるそうです。とりわけ、お客様のことを考えた言葉遣いは、心遣いとしてその大切さを教育されるそうです。

また、言葉遣いを大切にする取組は、スタッフ間でも同じだとのこと。毎日行われる始業前の打ち合わせ、定例会議、日常業務の中でのスタッフ間でのやりとり。全ての場面において、適切な言葉、優しい言葉、建設的な言葉が求められるそうです。時には、業務運営にあたって、激しく意見がぶつかることもあっても、厳しさの中にチームを大切にする思いやりのある言葉遣いを励行しているとのことでした。

発言内容や言葉遣いは、その人の人となりを表します。皆さんには、言葉の大切さを再確認してほしいと思います。また、正しい言葉遣いやTPOにあった言葉遣い、相手を思いやる言葉について、日頃から意識をしてください。

【TPO：Time=時 Place=場所 Occasion=機会】

学校ホームページで、日々の教育活動のようすを公開しています。どうぞ、本校ホームページを閲覧してください。

【東住吉中学校】で検索



QR code

東住吉中学校HP → <http://swa.city-osaka.ed.jp/swas/index.php?id=j742691>